

日本物理教育学会／2022 年度第 4 回理事会 議事録 Web 版

日 時： 2023 年 4 月 8 日（土）14:00～17:30

場 所： Zoom によるオンライン会議

出 席： 新田英雄，喜多誠，小河原康夫，大山光晴，殿村洋文，村田律子，今和泉卓也，岡田直之，室谷心，金長正彦，安田淳一郎，青木悠樹，梅田貴士，今井章人，鈴木久男，内山哲治，柿沼藤雄，荻尾彰一，福山隆雄，岸澤眞一（監事）

※ 日本物理教育学会賞選考委員会 伊土政幸（オブザーバー）

欠 席： 湯口秀敏（監事）

議事録作成：庶務理事

議 事：

- (1) 第 3 回理事会議事録について，議事録の確認がなされ了承された。
- (2) 総会議案書の事業報告と事業計画の各項目について，若干の字句の修正の後に了承された。
2022 年度の決算と 2023 年度予算について会費収入が毎年二十数万円ずつ減少している一方で，3 年間のコロナ禍の影響で旅費の支出がほとんどなくなっていること等の説明があり，承認された。会計監査が実施されたことが確認された。また，次年度理事・監事候補について，候補者を確認し了承された。
- (3) 研究大会について
 - ① 2023 年度新潟大会の進捗状況を会誌 71-2 に詳細を掲載することなどが確認され了承された。
 - ② 2024 年度東京大会について，工学院大学を会場として利用する事の具体的な説明があった。
- (4) 学会賞の選考結果について，日本物理教育学会賞は応募がなく，奨励賞は 3 件の応募があったが委員会として推薦なしの結論になった事について，オブザーバー参加の伊土委員長より説明があり，了承された。
学会賞の今後について，若手の一層の研究奨励を図るため，選考委員会に学会賞の再検討を依頼した。
- (5) 次年度の評議員候補について，各支部に候補者の推薦を依頼することが了承された。
- (6) 会計について，最新の会計資料に基づいて詳しい説明があり，了承された。
- (7) 学会の法人化について，法人化を業者委託の形で行うか，本学会独自で行うかについて，さらに WG で検討を行い，次の第 1 回理事会でその方向性を決定してはどうかという提案があり了承された。
- (8) 会費の減免に関する細則の変更について，65 歳定年が一般化している現状を反映させた文言に修正することが提案され了承された。
- (9) その他 (8)に引き続いて，事務局職員の通勤届の様式を整えたことと，労働条件通知書，英文目次作成業務委託契約書が整ったことについて報告があり了承された。

報 告：

- (10) 常務理事より
 - ・編集担当より，年間編集計画についての説明と，今後の特集について説明があった。
 - ・電子システム担当より，HP の更新について説明があった。
 - ・庶務担当より，会誌への広告掲載の申込状況について，広告企業が増えていることの報告があった。
- (11) 国際物理オリンピック組織委員（日本開催 2023 年）より，準備状況の説明があった。
- (12) 各委員会等年度報告について，入試検討委の報告が会誌 71-2 に掲載されることの報告があり，日本物理学会物理教育委員会の活動と，教科「理科」関連学会協議会が 5 月に開催を予定しているシンポジウムについて今井理事がシンポジストの一人であることなどの説明があった。
- (13) 次世代形成ワーキンググループより，Twitter 利用・YouTube 等の企画と，今夏に開催を予定している「物理教育若手夏の学校」の企画や活動について報告があった。

- (14) 支部活動報告について、北海道、東北、近畿、中国四国、九州の各支部から資料を基にこの一年間の活動の報告があった。新潟支部はまだ通常の支部活動は再開していないが、夏の研究大会の準備を進めているとの報告があった。
- (15) 共催・後援申請の2022年度の状況について一覧表を基に報告があった。
- (16) 入退会について、入会12名、退会19名、減免申請11名(学生3名、20年8名)の資料が示され確認がなされた。
- (17) その他
第14回日本学術振興会 有志賞受賞者候補の推薦について説明があり、推薦の呼びかけがあった。